甘六日刊
石城時報
▲日刊（日曜、祭日休刊）
廣告料一行十四字詰金五十錢
一部金貳錢一ケ月金參拾錢
發行所　磐城時報社
福島縣石城郡平町紺屋町十五
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷人　岡田弘成
編輯兼發行人　福島縣石城郡平町紺屋町十四

軍艦北上艦上で 海軍兵の点呼
七月二十一日小名濱港で 一般の觀覽を許す

福島縣下の海軍在鄕軍人の簡閲点呼は七月二日から開始されるが、之がため横須賀鎭守府二等巡洋艦北上（五千五百噸）は七月二十一日小名濱港に入港、二十一日は平、植田、四倉各警察署管内、二十二日は若松、田島、坂下、高田、富岡、浪江各警察署管内の在鄕軍人簡閲点呼を行ふ事になつたが、点呼執行官は艦長海軍大佐男爵園田實氏である、副艦長は海軍中佐實吉敏郎氏以下乘組員七百余名である、簡閲点呼と同時に海軍召集事務の檢閲を行ふ筈であるが、平、四倉、植田各警察署管内の檢閲は十三日平町第一小學校で行ふ筈で、執行官は海軍中佐大野善隆氏である、尙ほ小名濱港に入港する軍艦北上は二十一日、二十二日の兩日希望者に觀覽せしめる事は例年の如くである。

石城郡 教育部會總會

石城郡教育部會總會は二十五日午前九時半から平町第一小學校講堂に於て開催し出席者約四百名、縣から津田視學臨席、會長の開會の辭を述べ諸報告並に協議の後役員の改選を行ひ次いで會員の研究發表あり、午後一時から帝大教授田中寛一氏の「日本の將來」と題する有益な講演あつて午後三時半散會したが左の如し

一、我村の農業教育　泉小學校　鈴木　守壽
一、低學年級經營の基調　小名濱校　高木　長年
一、時代は順應せる勤勞、教育の考察　平第一校　上遠野長重
一、高二地理科教材取扱上の範圍に對する私見　好間尋常校　吉川　安松
一、綜合文化の建設へ　四倉校　青木　英明
一、唱歌教授實際問題に就て　內郷校　本田　藤雄

海軍紀念日

明二十七日平町各學校、在鄕軍人分會、青年團等では二十七日第二十五回の海軍紀念日當日種々の催ほしをなす可く準備中であるが、磐城中學校では日本大海戰に參加した仙臺市の森海軍少將を招聘して軍事講演會を開く事になつたが、平在鄕軍人分會では世界大戰として有名な攻防五年ベルダン城の活動寫眞を催ほす筈である。

過般の暴風で 果樹の被害甚大
赤井、小川の葡萄は殆んど全滅

石城地方に於て去る二十三日初夏には珍らしい大暴風があつたため目下結實期にある梨、桃葡萄等の被害多く、殊に赤井村小川村等に於ける葡萄は殆んど全滅の狀況で被害豫想以上の巨額に達する模樣である、石城郡農會長の開會の辭を述べ諸報告並に目下被害狀況について詳細の調査をなすべく係員が出張してゐる。

ムシ齒豫防 宣傳協議

來る六月四日はムシ齒豫防デーに當るので石城郡齒科醫師會では當日の宣傳方法について協議をなすため二十九日午後三時から平町田町末廣亭に會合種々打合せをなした。

▲歌川部長巡閲

濱通り各警察署巡閲の爲め歌川警察部長は二十六日午前十時五十分十七日平警察署の巡閲を行ふと共に植田町に向つた、二修理に大童であると共に惚々と

五年間無火災は 僅か四ケ村だけ
五年間の損害三十六萬圓

平署では二十五日から同署に於て高は年々增加してゐる、度數及して既往五ケ年間に於ける火災て行はれる警察部長巡閲材料と損害を年別すると左の如し。

狀態を調査したが、それによると大正十五年より本年五月までの平署管内火災度數は八十四回この損害三十六萬八千六百七十三圓で各町村の內、平、內郷が最も多く玉川、江名、下小川、澤渡は五年間を通じて無火災の狀態である、原因の主なるものは、殘火の不始末、提灯の置き忘れ、煙草の吸ひ殼等で、損害

年別	度數	損害
大正十五年	二五	五七、八一七
昭和二年	二一	六〇、四九七
同　三年	一四	七七、九三一
同　四年	一七	一六二、一三〇
同　五年	〃　七	一〇、一〇〇

ボロ自動車は ドシドシ廢させる
三十日から車体檢査

平、四倉兩署管内自動車々体檢査は三十日より五日間平町八幡小路舊磐中グランドで執行されるが、最近平署管内の車体の增加は縣下一といはれ、交通網の發達は比類なき狀態で、これに伴ふ事故も亦非常に多く年々檢査方法に嚴重さを加へてゐるも競爭激甚の結果優秀なる車体よりは寧ろ一時凌ぎのもので間に合せるといふ傾向で、結局車體は一般に不完全を免れないのは當然の事として、兎角乘客に非難が多く、且は交通取締の上からしても放置し難いので、一層辛辣さを增す方針であるとの事に前回でさへドシ〳〵修理並に廢車を命じて悲鳴をあげさせられた例もあるので、所有者は目下

石城地方は極最近になつて二三優秀な車體も見受らるゝに至つたが、從來のボロなのには驚かざるを得なかつた、殊に乘合において甚だしかつた樣で、交通網の上からして不良な事故防止の点からしても車は飽くまで廢除する必要があるので、徹底的に檢査をなす方針である、尙今後は一回毎に嚴重さを加へらるゝ事と思ふ。

▲馬の人工受精

石城產馬畜產組合第三回人工受精は二十七日上遠野村耀場で行ふが、ウトル號である。

▲理髮試驗受驗者

石城郡四倉警察署管内理髮從業員中來る六月三日福島市に於て執行さるゝ理髮試驗を受くるもの左の如し

▲四倉町　田部淺治、松本明
▲草野村　松本ハルノ、古宇田キン　▲大浦村　若松武太郎

石城郡下 小學校長會

石城郡小學校長會は二十四日午前十時から平第一小學校に於て開催、役員選擧の結果會長平第一校長曾我直治、副會長平第二校長佐藤一、同內郷尋高校長吉田庄太郎氏當選左の如き協議題を可決して午後三時散會した。

一、教育勅語表解作製、教育事績編纂、縣下小學校校長協議會規則改正、夏季講習會講習科目、大日本職業指導協會福島支部設立、石城郡體育研究振興、郡下全校教科共同研究

求人デー
平紹介所で活動

平職業紹介所では二十六日から三十一日まで求人デーに當り特に成果を收むべく町內の各官廳銀行、會社、商店その他求人方面に二十五日書狀を發し所員を訪問して運動を開始したが、これが成績を注目されてゐる。

平から宮まで 自動車運轉

平町から石城郡內郷村御臺境を通り同村大字宮に至る自動車運轉路線の許可運動は內郷村鈴木某外數名が行つてゐたが、愈々來月上旬には許可の指令に接する事になつたので、關係者は路線の改修工事に着手する筈である、同區間は僅か一里余の短距離であるが、一萬人近く勞働者を有する宮と平町の唯一の連絡機關として極めて便利であると地方民から喜ばれてゐる。

▲氷販賣總會

四倉町氷販賣業組合總會は二十六日午前十時より開催のため現組合長菊地伊太郎氏辭職のため後任組合長を大河原米松氏に決定し副組合長には郡司相之助氏が就任した。

▲放牧地調査

農林省山口事務官は縣枝松技手と共に二十五日石城郡に來り石城郡入遠野村の放牧採草地利用狀況を視察した。

▲名取川主任着任

平穀物檢査所主任として來任した名取川松次郎氏は二十六日平町各官衙を歷訪就任の挨拶をなした。

各濱だより

▲石城郡豐間村大敷網では二十四日二百貫漁獲相場六割
▲小名濱町では二十五日鰹五千尾の水揚あり相場十三割
▲石城郡四倉町では依然鰯の大漁が續き鰹に壓倒されて賣行き惡く肥料に處分されてゐる

十七の美人娘を 懸賞附で捜索願

石城城磐崎村大字藤原三井炭礦飯塲佐藤清三郎長女佐藤ミネ（十七）は去る十二日午後十時頃突然行衛不明になつたが、同人は美人娘として村中の評判者であつたから何者かゝ誘拐したらしく、懸賞金百五十圓を附して捜索方を願ひ出でた。

木炭の在庫品整理

濱三郡木炭同業組合では販路擴張のため石城、相馬、双葉三郡に亘る各驛における木炭の在庫品を調査して炭の價格俵數等を從來の取引先に知らしめ賣行きを圓滑にする方針で來る六月一日から各檢査員を激勵し調査を進めると。

▲トロに轢かる

石城郡内郷村大字高坂磐城炭礦運搬夫鈴木一郎（三二）は二十三日午後一時頃石炭運搬作業中トロに轢かれて慘死した。

平田町　さぐち　果物店

▲發狂者家出

茨城縣東茨城郡磯部町元二丁目川上平重（三八）は精神に異狀を呈し平町方面に行くからと遺書を認め十九日無斷家出をしたが、前後の關係から自殺の虞のありとし二十四日平署へ捜索を願ひ出た

好間の墮胎

兩名共執行猶豫

石城郡好間村字中好間小田炭礦後山婦中山いく（假名）並に同人實母藤廣（四六）の兩名に係る墮胎並に墮胎幇助の第二回公判は廿四日午前十時半から平支部法廷に開廷、求刑通り兩名に懲役四ヶ月並び執行猶豫二ヶ年の判決言渡しがあつた。

タクシーの御用命は
新しい氣持のよい
昭和タクシーへ
電三四三番（サシミ）

會津柳津福滿虚空藏尊參拜團体募集

期日及行程
六月三日午前五時四十分平驛發會津上戸驛午前十一時四十分下車し汽船にて猪苗代湖名所遊覽汽船中にて晝食、夫れより翁島高松宮殿下御別邸拜觀後長濱上陸午後四時より自動車にて東山温泉福住旅館一泊四日午前八時出發自動車にて坂下町塔寺立木觀世音參拜、夫れより坂下驛にて乘車柳津虚空藏尊へ參拜し坂下へ戻り、自動車にて若松市着鶴ケ城趾にて晝食、夫れより自動車にて飯森山其他名所を遊覽し、再び東山温泉福住旅館着泊
五日午前九時同所に於て解散
募集人員　定員壹百名限
申込締切　期日六月一日
會費　御一人前拾貳圓也
（汽車賃、自動車賃、舟賃、宿泊料、晝食全部付）
申込所　平町二丁目　伊關吳服店　電話三三三番
平町二丁目　鍋嘉酒店　電話四三二番
平町一丁目　關原商店　電話五六〇番
平町田町　三益　電話三二一番
平町田町　初音　電話二三六番

柳川なべ
あいはじめました
仕出し致します
田町　鳥料理　初音
電話二一六番

耳鼻咽喉科專門
新築移轉
平町仲田町七一
場所　合津醫院
電話五五九番

パラソル
日傘
時代の流行を代表する柄合
旅行に、郊外の散策に裝身具の御用意は「ツルヤ」へ
可愛らしいお子樣方のために
小さな日傘と……明るい初夏の帽子
平四丁目　ツルヤ　電一四〇

增築落成
平町南町
專門
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番
病室完備

店員募集
一、實業家志望者
一、年齢十四才位
一、住込、通勤自由
一、給料其他本人來談
平町田町卅六
永山酒店

誰れでも出來る
懸賞投票募集
極東オリンピック大會の優勝國豫想
第九回極東オリピック大會は二十四日から明治神宮外苑に開かれました、スポーツ萬能の時代として今や空前の人氣を呼んでゐます。
此の機に際し弊店では「極東の覇權は何國か？」と題して其豫想投票を懸賞で募集致します、日本勝つか、中華勝つか、左の規定によつて御投票下さい。
懸賞規程
一、投票は良製ハガキに住所氏名を明記し裏面に優勝豫想國名「一國を記入の事」
一、宛名は平町字一丁目（常盤屋時計店）
一、投票締切は五月三十日消印のあるものまで
一、正解者多數の場合は抽籤により賞品を贈る
一、發表は六月十日磐城時報夕刊紙上
一、賞品
一等　銀側懷中時計　一名
二等　美術置時計　二名
三等　精工舍製目醒時計　三名
四等　大型銅メタル　五等
五等　末廣　十五名
（以上常盤屋時計店頭に陳列）
平町一丁目　常盤屋時計店　電話三三九番

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「粟守酒」
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店　大平屋藥店
代價八日分壹圓九十錢　平町一丁目一　電四六二